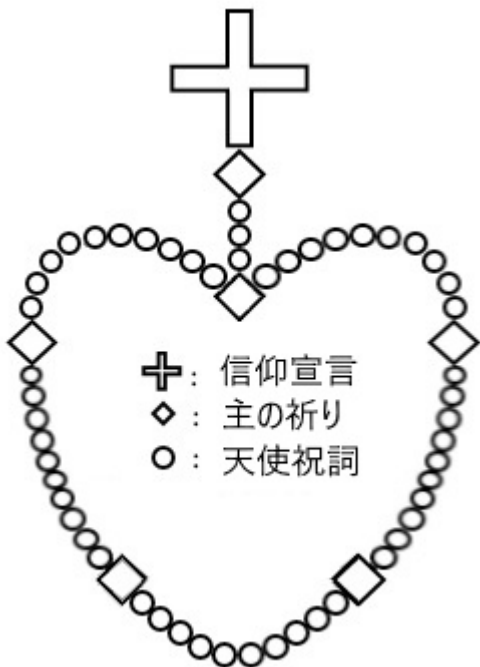




ロザリオの祈り

ロザリオの祈り方



喜びの神秘

P 5

光の神秘

P 19

苦しみの神秘

P 33

栄えの神秘

P 47

天地の創造主、全能の父である神を信じます。
父のひとり子、わたしたちの主
イエス・キリストを信じます。

主は聖霊によってやどり、おとめマリアから生まれ、
ポンティオ・ピラトのもとで苦しみを受け、
十字架につけられて死に、葬られ、陰府（よみ）に
下り、
三日目に死者のうちから復活し、天に昇って、
全能の父である神の右の座に着き、
生者と死者を裁くために来られます。

聖霊を信じ、聖なる普遍の教会、聖徒の交わり、
罪のゆるし、からだの復活、永遠のいのちを信じます。

アーメン。

天におられるわたしたちの父よ、
み名が聖とされますように。
み国が来ますように。
みこころが天に行われるとおりに地にも行われますように。
わたしたちの日ごとの糧を今日もお与えください。
わたしたちの罪をおゆるしてください。
わたしたちも人をゆるします。
わたしたちを誘惑におちいらせず、悪からお救いください。
アーメン。

アヴェ、マリア、
恵みに満ちた方、
主はあなたとともにおられます。
あなたは女のうちに祝福され、
ご胎内の御子イエスも祝福されています。
神の母聖マリア、
わたしたち罪びとのために、
今も、死を迎える時も、お祈りください。
アーメン。

栄光は父と子と聖霊に。
初めのように、今もいつも世々に。
アーメン。

喜びの神秘

<u>1. 受胎告知</u>	P6
<u>2 エリザベト訪問</u>	P8
<u>3 降誕</u>	P10
<u>4 主の奉献</u>	P12
<u>5 イエスが神殿で見いだされる</u>	P14
<u>リジューのテレーズ: 神の慈しみの愛に身を捧げる</u>	P16

1 受胎告知 主の祈り

26 六か月目に、天使ガブリエルは、ナザレというガリラヤの町に神から遣わされた。27 ダビデ家のヨセフという人のいなすけであるおとめのところに遣わされたのである。そのおとめの名はマリアといった。

ルカ1

アヴェ、マリア

28 天使は、彼女のところに来て言った。「おめでとう、恵まれた方。主があなたと共におられる。」29 マリアはこの言葉に戸惑い、いったいこの挨拶は何のことかと考え込んだ。

ルカ1

アヴェ、マリア

30 すると、天使は言った。「マリア、恐れることはない。あなたは神から恵みをいただいた。31 あなたは身ごもって男の子を産むが、その子をイエスと名付けなさい。

ルカ1

アヴェ、マリア

32 その子は偉大な人になり、いと高き方の子と言われる。神である主は、彼に父ダビデの王座をくださる。33 彼は永遠にヤコブの家を治め、その支配は終わることがない。」

ルカ1

アヴェ、マリア

34 マリアは天使に言った。「どうして、そのようなことがありえましょうか。わたしは男の人を知りませんのに。」35 天使は答えた。「聖霊があなたに降り、いと高き方の力があなたを包む。だから、生まれる子は聖なる者、神の子と呼ばれる。

ルカ1

アヴェ、マリア

38 マリアは言った。「わたしは主のはしためです。お言葉どおり、この身に成りますように。」そこで、天使は去って行った。

ルカ1

アヴェ、マリア

18 イエス・キリストの誕生の次第は次のようであった。母マリアはヨセフと婚約していたが、二人が一緒になる前に、聖霊によって身ごもっていることが明らかになった。

マタイ1

アヴェ、マリア

19 夫ヨセフは正しい人であったので、マリアのことを表ざたにするのを望まず、ひそかに縁を切ろうと決心した。

マタイ1

アヴェ、マリア

20 このように考えていると、主の天使が夢に現れて言った。「ダビデの子ヨセフ、恐れず妻マリアを迎え入れなさい。マリアの胎の子は聖霊によって宿ったのである。21 マリアは男の子を産む。その子をイエスと名付けなさい。この子は自分の民を罪から救うからである。」

マタイ1

アヴェ、マリア

24 ヨセフは眠りから覚めると、主の天使が命じたとおり、妻を迎え入れ、25 男の子が生まれるまでマリアと関係することはなかった。そして、その子をイエスと名付けた。

マタイ1

アヴェ、マリア

願わくは、聖父と聖子と聖霊とに栄えあらんことを。

始めにありし如く、

今もいつも世々に至るまで。

アーメン。

2 エリザベト訪問 主の祈り

36 あなたの親類のエリザベトも、年をとっているが、男の子を身ごもっている。不妊の女と言われていたのに、もう六か月になっている。37 神にできないことは何一つない。」

ルカ1

アヴェ、マリア

39 そのころ、マリアは出かけて、急いで山里に向かい、ユダの町に行った。40 そして、ザカリアの家に入ってエリザベトに挨拶した。41 マリアの挨拶をエリザベトが聞いたとき、その胎内の子がおどった。エリザベトは聖霊に満たされて、

ルカ1

アヴェ、マリア

42 声高らかに言った。「あなたは女の中で祝福された方です。胎内のお子さまも祝福されています。43 わたしの主のお母さまがわたしのところに来てくださるとは、どういうわけでしょう。」

ルカ1

アヴェ、マリア

44 あなたの挨拶のお声をわたしが耳にしたとき、胎内の子は喜んでおどりました。45 主がおっしゃったことは必ず実現すると信じた方は、なんと幸いですよ。」

ルカ1

アヴェ、マリア

46 そこで、マリアは言った。「わたしの魂は主をあがめ、47 わたしの霊は救い主である神を喜びたたえます。48 身分の低い、この主のはためにも目を留めてくださったからです。今から後、いつの世の人もわたしを幸いな者と言うでしょう。」

ルカ1

アヴェ、マリア

49 力ある聖なる方が、私に大きなことをしてくださったからです。50 そのあわれみは、いつまでも、神を恐れ敬う者の上にとどまります。

ルカ1

アヴェ、マリア

51 主はその腕で力を振るい、思い上がる者を打ち散らし、52 権力ある者をその座から引き降ろし、身分の低い者を高く上げ、

ルカ1

アヴェ、マリア

53 飢えた人を良い物で満ちし、富める者を空腹のまま追い返されます。

ルカ1

アヴェ、マリア

54 その僕イスラエルを受け入れて、憐れみをお忘れになりません、55 わたたちの先祖におっしゃったとおり、アブラハムとその子孫に対してとこしえに。」

ルカ1

アヴェ、マリア

56 マリアは、三か月ほどエリサベトのところに滞在してから、自分の家に帰った。57 さて、月が満ちて、エリサベトは男の子を産んだ。

ルカ1

アヴェ、マリア

願わくは、聖父と聖子と聖霊とに栄えあらんことを。

始めにありし如く、

今もいつも世々に至るまで。

アーメン。

3 降誕 主の祈り

1 そのころ、皇帝アウグストゥスから全領土の住民に、登録をせよとの勅令が出た。
4 ヨセフもダビデの家に属し、その血筋であったので、ガリラヤの町ナザレから、ユダヤのベツレヘムというダビデの町へ上って行った。5 身ごもっていた、いなぎのメリアと一緒に登録するためである。

ルカ 2

アヴェ、メリア

6 ところが、彼らがベツレヘムにいるうちに、メリアは月が満ちて、7 初めての子を産み、布にくるんで飼い葉桶に寝かせた。宿屋には彼らの泊まる場所がなかったからである。

ルカ 2

アヴェ、メリア

8 その地方で羊飼いたちが野宿をしなから、夜通し羊の群れの番をしていた。9 すると、主の天使が近づき、主の栄光が周りを照らしたので、彼らは非常に恐れた。

ルカ 2

アヴェ、メリア

10 天使は言った。「恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。
11 今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。12 あなたがたは、布にくるまって飼い葉桶の中に寝ている乳飲み子を見つけるであろう。これがあなたがたへのしるしである。」

ルカ 2

アヴェ、メリア

13 すると、突然、この天使に天の大軍が加わり、神を賛美して言った。14 「いと高きところには栄光、神にあれ、地には平和、御心に適う人にあれ。」15 天使たちが離れて天に去ったとき、羊飼いたちは、「さあ、ベツレヘムへ行こう。主が知らせてくださったその出来事を見ようではないか」と話し合った。

ルカ 2

アヴェ、メリア

16 そして急いで行って、マリアとヨセフ、また飼い葉桶に寝かせてある乳飲み子を探し当てた。17 その光景を見て、羊飼いたちは、この幼子について天使が話してくれたことを人々に知らせた。18 聞いた者は皆、羊飼いたちの話をも不思議に思った。19 しかし、マリアはこれらの出来事をすべて心に納めて、思い巡らしていた。

ルカ2

アヴェ、マリア

1 イエスは、ヘロデ王の時代にユダヤのベツレヘムでお生まれになった。そのとき、占星術の学者たちが東の方からエルサレムに来て、2 言った。「ユダヤ人の王としてお生まれになった方は、どこにおられますか。わたしたちは東方でその方の星を見たので、拝みに来たのです。」

マタイ2

アヴェ、マリア

3 これを聞いて、ヘロデ王は不安を抱いた。エルサレムの人々も皆、同様であった。4 王は民の祭司長たちや律法学者たちを皆集めて、メシアはどこに生まれることになっているのかと問いただした。5 彼らは言った。「ユダヤのベツレヘムです。」

マタイ2

アヴェ、マリア

9 彼らが王の言葉を聞いて出かけると、東方で見た星が先立って進み、ついに幼子のいる場所の上に止まった。10 学者たちはその星を見て喜びにあふれた。

マタイ2

アヴェ、マリア

11 家に入ってみると、幼子は母マリアと共におられた。彼らはひれ伏して幼子を拝み、宝の箱を開けて、黄金、乳香、没薬を贈り物として献げた。12 ところが、「ヘロデのところへ帰るな」と夢でお告げがあったので、別の道を通して自分たちの国へ帰って行った。

マタイ2

アヴェ、マリア

願わくは、聖父と聖子と聖霊とに栄えあらんことを。

始めにあり如く、
今もいつも世々に至るまで。
アーメン。

4 主の奉獻 主の祈り

21 八日たって割礼の日を迎えたとき、幼子はイエスと名付けられた。これは、胎内に宿る前に天使から示された名である。22 さて、モーセの律法に定められた彼らの清めの期間が過ぎたとき、両親はその子を主に献げるため、エルサレムに連れて行った。23 それは主の律法に、「初めて生まれる男子は皆、主のために聖別される」と書いてあるからである。

ルカ2

アヴェ、マリア

25 そのとき、エルサレムにシメオンという人がいた。この人は正しい人で信仰があつく、イスラエルの慰められるのを待ち望み、聖霊が彼にことどまっていた。26 そして、主が遣わすメシアに会うまでは決して死なない、とのお告げを聖霊から受けていた。

ルカ2

アヴェ、マリア

27 シメオンが「霊」に導かれて神殿の境内に入って来たとき、両親は、幼子のために律法の規定どおりにいけにえを献げようとして、イエスを連れて来た。28 シメオンは幼子を腕に抱き、神をたたえて言った。

ルカ2

アヴェ、マリア

29「主よ、今こそあなたは、お言葉どおりこの僕を安らかに去らせてくださいます。30 わたしはこの目であなたの救いを見たからです。31 これは万民のために整えてくださった救いで、32 異邦人を照らす啓示の光、あなたの民イスラエルの誉れです。」

ルカ2

アヴェ、マリア

33 父と母は、幼子についてこのように言われたことに驚いていた。34 シメオンは彼らを祝福し、母親のマリアに言った。「御覧なさい。この子は、イスラエルの多くの人を倒したり立ち上がらせたりするために定められ、また、反対を受けるしるしとして定められています。35——あなた自身も剣で心を刺し貫かれます——多くの人の心にある思いがあらわにされるためです。」

ルカ2

アヴェ、マリア

39 親子は主の律法で定められたことをみな終えたので、自分たちの町であるガリラヤのナザレに帰った。

ルカ 2

アヴェ、マリア

13 占星術の学者たちが帰って行くと、主の天使が夢でヨセフに現れて言った。「起きて、子供とその母親を連れて、エジプトに逃げ、わたしが告げるまで、そこにどまっていなさい。ヘロデが、この子を探し出して殺そうとしている。」

マタイ 2

アヴェ、マリア

14 ヨセフは起きて、夜のうちに幼子とその母を連れてエジプトへ去り、15 ヘロデが死ぬまでそこにいた。

マタイ 2

アヴェ、マリア

16 さて、ヘロデは占星術の学者たちにだまされたと知って、大いに怒った。そして、人を送り、学者たちに確かめておいた時期に基づいて、ベツレヘムとその周辺一帯にいた二歳以下の男の子を、一人残らず殺させた。

マタイ 2

アヴェ、マリア

19 ヘロデが死ぬと、主の天使がエジプトにいるヨセフに夢で現れて、20 言った。「起きて、子供とその母親を連れ、イスラエルの地に行きなさい。この子の命をねらっていた者どもは、死んでしまった。」21 そこで、ヨセフは起きて、幼子とその母を連れて、イスラエルの地へ帰って来た。22ところが、夢でお告げがあったので、ガリラヤ地方に引きこもり、23 ナザレという町に行って住んだ。

マタイ 2

アヴェ、マリア

願わくは、聖父と聖子と聖霊とに栄えあらんことを。

始めにありし如く、

今もいつも世々に至るまで。

アーメン。

5 イエスが神殿で見いだされる 主の祈り

40 幼子はたくましく育ち、知恵に満ち、神の恵みに包まれていた。
ルカ2 アヴェ、マリア

41 さて、両親は過越祭には毎年エルサレムへ旅をした。42 イエスが
十二歳になったときも、両親は祭りの慣習に従って都に上った。
ルカ2 アヴェ、マリア

43 祭りの期間が終わって帰路についたとき、少年イエスはエルサレム
に残っておられたが、両親はそれに気づかなかった。
ルカ2 アヴェ、マリア

44 イエスが道連れの中にいるものと思い、一日分の道のりを行ってし
まい、それから、親類や知人の間を捜し回ったが、45 見つからなかつ
たので、捜しながらエルサレムに引き返した。
ルカ2 アヴェ、マリア

46 三日の後、イエスが神殿の境内で学者たちの真ん中に座り、話を
聞いたり質問したりしておられるのを見つけた。47 聞いている人は皆、
イエスの賢い受け答えに驚いていた。
ルカ2 アヴェ、マリア

48 両親はイエスを見て驚き、母が言った。「なぜこんなことをしてくれたのです。御覧なさい。お父さんもわたしも心配して捜していたのです。」
ルカ2 アヴェ、マリア

49 すると、イエスは言われた。「どうしてわたしを捜したのですか。わたしが自分の父の家にいるのは当たり前だということを、知らなかったのですか。」50 しかし、両親にはイエスの言葉の意味が分からなかった。
ルカ2 アヴェ、マリア

51 それから、イエスと一緒に下って行き、ナザレに帰り、両親に仕えてお暮らしになった。
ルカ2 アヴェ、マリア

51 母はこれらのことをすべて心に納めていた。
ルカ2 アヴェ、マリア

52 イエスは知恵が増し、背丈も伸び、神と人ともに愛された。
ルカ2 アヴェ、マリア

願わくは、聖父と聖子と聖霊とに栄えあらんことを。
始めにありし如く、
今もいつも世々に至るまで。
アーメン。

神の慈しみ深い愛にいかえとしてわが身を献げる祈り

イエス、マリア・ヨセフ・テレサ

おお、私の神、至福の聖三位よ！-私はあなたを愛し、人々にもあなたを愛させたいと思います。地上の人々を救い、煉獄で苦しむ靈魂を助けながら、教会の光栄のために尽くしたいと望みます。主のみ旨を完全に果たし、私のために準備されたみ国の光栄に達したいと思います。つまり聖人になりたいのです。しかし、私にそのような力はありません。主よ、あなたが私の聖徳となってください。

主はおん独り子を、救い主、天の花婿として与えてくださったほど私を愛しておられるのですから、おん子の功德の限りない宝は、すべて私のものです。それゆえ、私は喜んでそれを主に献げます。どうぞ、ただイエスさまの尊い面影を通して、また愛に燃えるみ心のうちにだけ、私を眺めてください。

また、天上と地上の聖人そして天使のすべての功德と愛の行いを、あなたに献げます。そして、おお、限りなく幸いな聖三位よ、さらに愛するおん母、おとめ聖マリアの愛と功德をも献げ、聖母のみ手にこの奉献をゆだねて、聖母おん自ら主に献げてくださいよう心から願います。

尊いおん子、最愛の天の花婿は、地上におられたとき、「あなたたちがわたしの名によって父に求めることは、何でも与えてくださるだろう」(ヨハネ16・23)と言われました。それゆえ、主は必ず私の望みをかなえてくださることと信じます。おお、私の神、主の与えたいとの思いが強いほど、ますます私の望みは激しくなります。私の心の中の望みは、実に限りがありません。深い信頼をもって、主が私を完全に主のものとしてくださるよう願います。ああ！私は自分が望むほどたびたび聖体拝領ができません。主よ、あなたは全能でいらっしゃいます。どうぞ聖櫃におられるように、私の中にとどまり、主の小さなホスチアから決して遠ざからないでください！

私は罪人たちの忘恩を償って、主を慰めたいと思います。主のみ心にかなわない行いをする自由を、どうぞ私から取り去ってください。弱さゆえに、ときに過ちに陥ることがあれば、すぐに主の尊いまなざしが私を浄め、火がすべてのものを同化してしまうように、私のすべての不完全を焼き尽くしてくださいますように！

おお、私の神、主が私にくださったすべての恵み、ことに苦しみのつぼの経験をくださったことを感謝します。この世の終わりに、私は十字架の王笏を手にとる主を喜んで拝することでしょう。主は貴重な十字架を私にも分け与えてくださいました。それゆえ、私は天国で主に似たものとなり、私の光栄のからだに主のご受難の傷跡が輝くことを希望します。

このさすらいの後、天のふるさどで主を受ける喜びを望みます。しかし天国のために功德を積むのではなく、ひたすら主を喜ばせ、主のみ心を慰め、人々を救い、永遠に主を愛させることだけを目指して、ただ主の愛のためのみ働こうと望んでいます。

命の夕べに、私は空の手で主のみ前に立つことでしょう。自分の業を数えてくださいとは願いません。主のおん目から見れば、私たちのすべての正義もお汚れたものです！ それゆえ私は主の正義を清て、主の慈しみによって、主ご自身を永遠に自分のものとするを願います。

おお、最愛の方よ、主のほかには、どんな王位も王冠も望みません。主のおん日には時間は何もでもなく、「一日も千年のよう」です。それゆえ、主は一瞬のうちに、私を主のみ前に立つにふさわしい者となさるでしょう。

あなたの愛に生かされるために、あなたの慈しみ深い愛に、私をいかにえとして献げます。どうか私を絶え間なく焼き尽くしてください。あなたの中にせきとめられた無限の慈しみの波を、私のうちに満ちあふれさせ、主の愛の殉教者にしてください。

殉教によって主の前に立つにふさわしいものとされてから、ついに死を与えてください！ 主に向かって、すみやかに飛んでいき、主の慈しみ深い愛に永遠に抱かれますように！ おお、私の最愛の方よ、「この世の影が消え失せて」永遠に主を目の前に拝し、わが愛を主にお伝えできる日まで、心臓の鼓動のたびに、数限りなくこの本献をくり返すことを望みます。

不肖なるカルメル会修道女
幼いイエスと尊い面影の
マリー・フランソワーズ・テレ

光の神秘

<u>1 キリストの洗礼</u>	P20
<u>2 カナの婚礼</u>	P22
<u>3 宣教のはじめ</u>	P24
<u>4 主の変容</u>	P26
<u>5 聖体の制定</u>	P28
<u>聖クロード・ド・ラ・コロンビエール</u> (english text)	P30

1 キリストの洗礼

主の祈り

2 アンナスとカイアファとが大祭司であったとき、神の言葉が荒野でザカリアの子ヨハネに降った。3 そこで、ヨハネはヨルダン川沿いの地方一帯に行き、罪の赦しを得させるために悔い改めの洗礼を宣べ伝えた。2「悔い改めよ。天の国は近づいた」と言っ

ルカ3 マタイ3

アヴェ、マリア

5 そこで、エルサレムとユダヤ全土から、また、ヨルダン川沿いの地方一帯から、人々がヨハネのもとに来て、6 罪を告白し、ヨルダン川で彼から洗礼を受けた。

マタイ3

アヴェ、マリア

7 そこでヨハネは、洗礼を授けてもらおうとして出て来た群衆に言った。「蝮の子らよ、差し迫った神の怒りを免れると、だれが教えたのか。8 悔い改めにふさわしい実を結べ。『我々の父はアブラハムだ』などという考えを起すな。言うておろが、神はこんな石ころからでも、アブラハムの子たちを造り出すことがおできになる。

ルカ3

アヴェ、マリア

7 彼はこう宣べ伝えた。「わたしよりも優れた方が、後から来られる。わたしは、かがんでその方の履物のひもを解く値打ちもない。8 わたしは水であなたたちに洗礼を授けたが、その方は聖霊で洗礼をお授けになる。」

マルコ1

アヴェ、マリア

29 その翌日、ヨハネは、自分の方へイエスが来られるのを見て言った。「見よ、世の罪を取り除く神の小羊だ。30『わたしの後から一人の人が来られる。その方はわたしにまさる。わたしよりも先におられたからである』とわたしが言ったのは、この方のことである。

ヨハネ1

アヴェ、マリア

13 そのとき、イエスが、ガリラヤからヨルダン川のヨハネのところへ来られた。彼から洗礼を受けるためである。14 ところが、ヨハネは、それを思いとどまらせようとして言った。「わたしこそ、あなたから洗礼を受けるべきなのに、あなたが、わたしのところへ来られたのですか。」15 しかし、イエスはお答えになった。「今は、止めないでほしい。正しいことをすべて行うのは、我々にふさわしいことです。」そこで、ヨハネはイエスの言われるとおりにした。

マタイ 3

アヴェ、マリア

16 イエスは洗礼を受けると、すぐ水の中から上がった。そのとき、天がイエスに向かって開いた。イエスは、神の霊が鳩のように御自分の上に降って来るのを御覧になった。17 そのとき、「これはわたしの愛する子、わたしの心に適う者」と言う声が、天から聞こえた。

マタイ 3

アヴェ、マリア

32 そしてヨハネは証した。「わたしは、“霊”が鳩のように天から降って、この方の上にとどまるのを見た。33 わたしはこの方を知らなかった。しかし、水で洗礼を受けるためにわたしをお遣わしになった方が、『“霊”が降って、ある人とどまるのを見たら、その人が、聖霊によって洗礼を受ける人である』とわたしに言われた。

ヨハネ 1

アヴェ、マリア

34 わたしはそれを見た。だから、この方こそ神の子であると証したのである。」6 ヨハネはらくだの毛衣を着、腰に革の帯を締め、いなごや野蜜を食べていた。

ヨハネ 1 マルコ 1

アヴェ、マリア

35 その翌日、また、ヨハネは二人の弟子と一緒にいた。36 そして、歩いておられるイエスを見つめて、「見よ、神の小羊だ」と言った。37 二人の弟子はそれを聞いて、イエスに従った。38 イエスは振り向き、彼らに従って来るのを見て、「何を求めているのか」と言われた。彼らが、「ラビ——『先生』という意味——どこに泊まっておられるのですか?」と言うと、39 イエスは、「来なさい。そうすれば分かる」と言われた。

ヨハネ 1

アヴェ、マリア

願わくは、聖父と聖子と聖霊とに栄えあらんことを。

始めにありし如く、

今もいつも世々に至るまで。

アーメン。

2 カナの婚礼 主の祈り

1 三日目に、ガリラヤのカナで婚礼があって、イエスの母がそこにいた。2 イエスも、その弟子たちも婚礼に招かれた。3 ぶどう酒が足りなくなったので、母がイエスに、「ぶどう酒がなくなりました」と言った。

ヨハネ 2

アヴェ、マリア

4 イエスは母に言われた。「婦人よ、わたしとどんなかかわりがあるのです。わたしの時はまだ来ていません。」5 しかし、母は召し使いたちに、「この人が何か言いつけたら、そのとおりにしてください」と言った。

ヨハネ 2

アヴェ、マリア

6 そこには、ユダヤ人が清めに用いる石の水がめが六つ置いてあった。いずれも二ないし三メートル入りのものである。7 イエスが、「水がめに水をいっぱい入れなさい」と言われると、召し使いたちは、かめの縁まで水を満した。8 イエスは、「さあ、それをくんで宴会の世話役のところへ持って行きなさい」と言われた。召し使いたちは運んで行った。

ヨハネ 2

アヴェ、マリア

9 世話役はぶどう酒に変わった水の味見をした。このぶどう酒がどこから来たのか、水をくんだ召し使いたちは知っていたが、世話役は知らなかったので、花婿を呼んで、10 言った。「だれでも初めに良いぶどう酒を出し、酔いがまわったところに劣ったものを出すものですが、あなたは良いぶどう酒を今まで取って置かれました。」11 イエスは、この最初のししをガリラヤのカナで行って、その栄光を現された。それで、弟子たちはイエスを信じた。

ヨハネ 2

アヴェ、マリア

19 そこで、イエスは彼らに言われた。「はっきり言っておく。子は、父のなさることを見なければ、自分からは何事もできない。父がなさることはなんでも、子もそのとおりにする。20 父は子を愛して、御自分のなさることをすべて子に示されるからである。また、これらのことよりも大きな業を子にお示しになって、あなたたちが驚くことになる。21 すなわち、父が死者を復活させて命をお与えになるように、子も、与えたいと思う者に命を与える。

ヨハネ 5

アヴェ、マリア

18 イスがこのようなことを話しておられると、ある指導者がそばに来て、ひれ伏して言った。「わたしの娘がたまたま死にました。でも、おいでになって手を置いてやってください。そうすれば、生き返るでしょう。」

マタイ 9

アヴェ、マリア

51 イスはその家に着くと、ペトロ、ヨハネ、ヤコブ、それに娘の父母のほかには、だれも一緒にいることをお許しにならなかった。52 人々は皆、娘のために泣き悲しんでいた。そこで、イスは言われた。「泣くな。死んだのではない。眠っているのだ。」

ルカ 8

アヴェ、マリア

53 人々は、娘が死んだことを知っていたので、イスをあざ笑った。54 イスは娘の手を取り、「娘よ、起きなさい」と呼びかけられた。55 すると娘は、その霊が戻って、すぐに起き上がった。イスは、娘に食べ物を与えるように指図をされた。56 娘の両親は非常に驚いた。イスは、この出来事をだれにも話さないようにことお命じになった。

ルカ 8

アヴェ、マリア

2 ヨハネは牢の中で、キリストのなさったことを聞いた。そこで、自分の弟子たちを送って、3 尋ねさせた。「来るべき方は、あなたでしょうか。それとも、ほかの方を待たなければなりませんか。」

マタイ 11

アヴェ、マリア

4 イスはお答えになった。「行って、見聞きしていることをヨハネに伝えなさい。5 目の見えない人は見え、足の不自由な人は歩き、重い皮膚病を患っている人は青くなり、耳の聞こえない人は聞こえ、死者は生き返り、貧しい人は福音を告げ知らされている。6 わたしにつまずかぬ人は幸いである。」

マタイ 11

アヴェ、マリア

願わくは、聖父と聖子と聖霊とに栄えあらんことを。

始めにありし如く、

今もいつも世々に至るまで。

アーメン。

3 宣教のはじめ 主の祈り

12 イスは、ヨハネが捕らえられたと聞き、ガリラヤに退かれた。17 そのときから、イスは、「悔い改めよ。天の国は近づいた」と言って、宣べ伝え始められた。23 イスはガリラヤ中を回って、諸会堂で教え、御国の福音を宣べ伝え、また、民衆のありとあらゆる病気や患いをいやされた。

マタイ 4

アヴェ、マリア

42 朝になると、イスは人里離れた所へ出て行かれた。群衆はイスを捜し回ってそのそばまで来ると、自分たちから離れて行かないようにと、しきりに引き止めた。43 しかし、イスは言われた。「ほかの町にも神の国の福音を告げ知らせなければならぬ。わたしはそのために遣わされたのだ。」44 そして、ユダヤの諸会堂に行き宣教された。

ルカ 4

アヴェ、マリア

26 また、イスは言われた。「神の国は次のようなものである。人が土に種を蒔いて、27 夜昼、寝起きしているうちに、種は芽を出して成長するが、どうしてそうなるのか、その人は知らない。28 土はひとりてに実を結ばせるのであり、まず茎、次に穂、そしてその穂には豊かな実ができる。29 実が熟すと、早速、鎌を入れる。収穫の時が来たからである。」14 種を蒔く人は、神の言葉を蒔くのである。

マルコ 4

アヴェ、マリア

31 イスは、別のたとえを持ち出して、彼らに言われた。「天の国はからし種に似ている。人がこれを取って畑に蒔けば、32 どんな種よりも小さいのに、成長するとどの野菜よりも大きくなり、空の鳥が来て枝に巣を作るほどの木になる。」

マタイ 13

アヴェ、マリア

23 イスは弟子たちに言われた。「はっきりしておく。金持ちが天の国に入るのは難しい。24 「だれも、二人の主人に仕えることはできない。あなたがたは、神と富とに仕えることはできない。」31 だから、『何を食べようか』『何を飲もうか』『何を着ようか』と言って、思い悩むな。32 それはみな、異邦人が切に求めているものだ。あなたがたの天の父は、これらのものがみなあなたがたに必要なことをご存じである。33 何よりもまず、神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはみな加えて与えられる。

マタイ 19 マタイ 6

アヴェ、マリア

20 言うておくが、あなたがたの義が律法学者やファリサイ派の人々の義にまさってはいなければ、あなたがたは決して天の国に入ることができない。」21 中から、つまり人間の心から、悪い思いが出て来るからである。みだらな行い、盗み、殺意、22 姦淫、貪欲、悪意、詐欺、好色、ねたみ、悪口、傲慢、無分別など、23 これらの悪はみな中から出て来て、人を汚すのである。」

マタイ5 マルコ7

アヴェ、マリア

41 ただ、器の中にある物を人に施せ。そうすれば、あなたたちにはすべてのものが清くなる。25 弟子たちはこれを聞いて非常に驚き、「それでは、だれが救われるのだろうか」と言った。26 イエスは彼らを見つめて、「それは人間にできることではないが、神は何でもできる」と言われた。

ルカ11 マタイ19

アヴェ、マリア

13『わたしが求めるのは隣みであって、いかにえてはいない』とはどういう意味か、行って学びなさい。わたしが来たのは、正しい人を招くためではなく、罪人を招くためである。」28 疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。29 わたしは柔和で謙遜な者だから、わたしの軛を負い、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたは安らぎを得られる。30 わたしの軛は負いやすく、わたしの荷は軽しいからである。」

マタイ9 マタイ11

アヴェ、マリア

46「わたしを『主よ、主よ』と呼びながら、なぜわたしの言うことを行わないのか。13 このように、あなたがたは悪い者でありながらも、自分の子供には良い物を与えることを知っている。まして天の父は求める者に聖霊を与えてくださる。」48 だから、あなたがたの天の父が完全であられるように、あなたがたも完全な者となりなさい。」

ルカ6 ルカ11 マタイ5

アヴェ、マリア

66 このために、弟子たちの多くが離れ去り、もはやイエスと共に歩まなくなった。67 そこで、イエスは十二人に、「あなたがたも離れて行きたいか」と言われた。68 シモン・ペトロが答えた。「主よ、わたしたちはだれのところへ行きましょうか。あなたは永遠の命の言葉を持っておられます。」

ヨハネ6

アヴェ、マリア

願わくは、聖父と聖子と聖霊とに榮えあらんことを。

始めにありし如く、

今もいつも世々に至るまで。

アーメン。

4 主の変容 主の祈り

20 ファリサイ派の人々が、神の国はいつ来るのかと尋ねたので、イエスは答えて言われた。「神の国は、見える形では来ない。21『ここにある』『あそこにある』と言えるものでもない。実に、神の国はあなたがたの間にあるのだ。」20 二人または三人がわたしの名によって集まるところには、わたしもその中にいるのである。」

ルカ 17 マタイ 18

アヴェ、マリア

13 イエスは、フィリポ・カイサリア地方に行ったとき、弟子たちに、「人々は、人の子のことを何者だと言っているか」とお尋ねになった。14 弟子たちは言った。「『洗礼者ヨハネだ』と言う人も、『エリヤだ』と言う人もいます。ほかに、『エリミヤだ』とか、『預言者の一人だ』と言う人もいます。」15 イエスが言われた。「それでは、あなたがたはわたしを何者だと言うのか。」

マタイ 16

アヴェ、マリア

16 シモン・ペトロが、「あなたはメシア、生ける神の子です」と答えた。17 すると、イエスはお答えになった。「シモン・バルヨナ、あなたは幸いです。あなたにこのことを現したのは、人間ではなく、わたしの天の父なのだ。18 わたしも言っておく。あなたはペトロ。わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てる。陰府の力もこれに対抗できない。19 わたしはあなたに天の国の鍵を授ける。」

マタイ 16

アヴェ、マリア

20 それから、イエスは、御自分がメシアであることをだれにも話さないように、と弟子たちに命じられた。21 このときから、イエスは、御自分が必ずエルサレムに行って、長老、祭司長、律法学者たちから多くの苦しみを受けて殺され、三日目に復活することになっていると弟子たちに打ち明け始められた。22 すると、ペトロはイエスをわきへお連れして、いさめ始めた。「主よ、とんでもないことです。そんなことがあってはなりません。」

マタイ 16

アヴェ、マリア

23 イエスは振り向いてペトロに言われた。「サタン、引き下がれ。あなたはわたしの邪魔をする者。神のことを思わず、人間のことを思っている。」24 それから、弟子たちに言われた。「わたしについて来たい者は、自分を捨て、自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい。25 自分の命を救いたいと思う者は、それを失うが、わたしのために命を失う者は、それを得る。」

マタイ 16

天使祝詞

27 確かに言うておく。ここに一緒にいる人々の中には、神の国を見るまでは決して死なない者がいる。」28 この話をしてから八日ほどたったとき、イエスは、ペトロ、ヨハネ、およびヤコブを連れて、祈るために山に登られた。

ルカ9

アヴェ、マリア

29 祈っておられるうちに、イエスの顔の様子が変わり、服は真っ白に輝いた。30 見ると、二人の人がイエスと語り合っていた。モーセとエリヤである。31 二人は栄光に包まれて現れ、イエスがエルサレムで遂げようとしておられる最期について話していた。

ルカ9

アヴェ、マリア

32 ペトロと仲間らは、ひどく眠かったが、じっとこらえていると、栄光に輝くイエスと、そばに立っている二人の人が見えた。5 ペトロが口をはさんでイエスに言った。「先生、わたしたちがここにいるのは、すばらしいことです。仮小屋を三つ建てましょう。一つはあなたのため、一つはモーセのため、もう一つはエリヤのためです。」6 ペトロは、どう言えばよいのか、分からなかった。弟子たちは非常に恐れていたのである。

ルカ9 マルコ9

アヴェ、マリア

7 すると、雲が現れて彼らを覆い、雲の中から声がした。「これはわたしの愛する子。これに聞け。」8 弟子たちは急いで辺りを見回したが、もはやだれも見えず、ただイエスだけが彼らと一緒におられた。

マルコ9

アヴェ、マリア

9 一同が山を下りるとき、イエスは、「人の子が死者の中から復活するまでは、今見たことをだれにも話してはいけません」と弟子たちに命じられた。31 それは弟子たちに、「人の子は、人々の手に引き渡され、殺される。殺されて三日の後、復活する」と言うておられたからである。32 弟子たちはこの言葉が分からなかったが、怖くて尋ねられなかった。

マルコ9

アヴェ、マリア

願わくは、聖父と聖子と聖霊とに栄えあらんことを。

始めにありし如く、

今もいつも世々に至るまで。

アーメン。

5 聖体の制定 主の祈り

19 弟子たちは、イエスに命じられたとおりにして、過越の食事を準備した。20 夕方になると、イエスは十二人と一緒に食事の席に着かれた。4 食事の席から立ち上がって上着を脱ぎ、手ぬぐいを取って腰にまとわれた。5 それから、たらいに水をくんで弟子たちの足を洗い、腰にまとった手ぬぐいでふき始められた。

マタイ 26 ヨハネ 13

アヴェ、マリア

6 シモン・ペトロのところに来ると、ペトロは、「主よ、あなたがわたしの足を洗ってくださるのですか」と言った。8 ペトロが、「わたしの足など、決して洗わないでください」と言うと、イエスは、「もしわたしがあなたを洗わないなら、あなたはわたしと何のかかわりもないことになる」と答えられた。9 そこでシモン・ペトロが言った。「主よ、足だけでなく、手も頭も。」10 イエスは言われた。「既に体を洗った者は、全身清いだから、足だけ洗えばよい。あなたがたは清いのだが、皆が清いわけではない。」3 わたしの話した言葉によって、あなたがたは既に清くなっている。

ヨハネ 13 ヨハネ 15

アヴェ、マリア

12 さて、イエスは、弟子たちの足を洗ってしまうと、上着を着て、再び席に着いて言われた。「わたしがあなたがたにしたことが分かるか。13 あなたがたは、わたしを『先生』とか『主』とか呼ぶ。そのように言うのは正しい。わたしはそうである。14 ところで、主であり、師であるわたしがあなたがたの足を洗ったのだから、あなたがたも互いに足を洗い合わなければならない。15 わたしがあなたがたにしたとおりに、あなたがたもするようにと、模範を示したのである。

ヨハネ 13

アヴェ、マリア

34 あなたがたに新しい掟を与える。互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。35 互いに愛し合うならば、それによってあなたがたがわたしの弟子であることを、皆が知るようになる。」

ヨハネ 13

アヴェ、マリア

12 わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。これがわたしの掟である。13 友のために自分の命を捨てること、これ以上に大きな愛はない。14 わたしの命じることを行なうならば、あなたがたはわたしの友である。15 もはや、わたしはあなたがたを僕とは呼ばない。僕は主人が何をしているか知らないからである。わたしはあなたがたを友と呼ぶ。父から聞いたことをすべてあなたがたに知らせたからである。

ヨハネ 15

アヴェ、マリア

27「今、わたしは心騒ぐ。何と言おうか。『父よ、わたしをこの時から救ってください』と言おうか。しかし、わたしはまさにこの時のために来たのだ。28 父よ、御名の栄光を現してください。」すると、天から声が聞こえた。「わたしは既に栄光を現した。再び栄光を現そう。」

ヨハネ 12

アヴェ、マリア

26 一同が食事をしているとき、イエスはパンを取り、賛美の祈りを唱えて、それを裂き、弟子たちに与えながら言われた。「取って食べなさい。これはわたしの体である。」
マタイ 26

アヴェ、マリア

27 また、杯を取り、感謝の祈りを唱え、彼らに渡して言われた。「皆、この杯から飲みなさい。28 これは、罪が赦されるように、多くの人のために流されるわたしの血、契約の血である。」

マタイ 26

アヴェ、マリア

29 言っておくが、わたしの父の国であなたがたと共に新たに飲むその日まで、今後ぶどうの実から作ったものを飲むことは決してあるまい。」30 一同は賛美の歌をうたってから、オリーブ山へ出かけた。19「わたしの記念としてこのように行いなさい。」
マタイ 26 ルカ 22

アヴェ、マリア

21 イエスはこう話し終えると、心を騒がせ、断言された。「はっきり言っておく。あなたがたのうちの一人がわたしを裏切ろうとしている。」22 弟子たちは、だれについて言っておられるのか察しかねて、顔を見合わせた。26 イエスは、「わたしがパン切れを浸して与えるのがその人だ」と答えられた。それから、パン切れを浸して取り、イスカリオテのシモンの子ユダにお与えになった。30 ユダはパン切れを受け取ると、すぐ出て行った。夜であった。

ヨハネ 13

アヴェ、マリア

願わくは、聖父と聖子と聖霊とに栄えあらんことを。

始めにありし如く、
今もいつも世々に至るまで。
アーメン。

Prayer: True Friend By St. Claude La Colombiere,

Jesus! You are my true Friend, my only Friend.

You take a part in all my misfortunes; You take them on Yourself; You know how to change them into blessings; You listen to me with the greatest kindness when I relate my troubles to You, and You have always balm to pour on my wounds.

I find You at all times; I find You everywhere, You never go away: if I have to change my dwelling, I find You there wherever I go.

You are never weary of listening to me, You are never tired of doing me good. I am certain of being beloved by You, if I love You; my goods are nothing to You, and by bestowing Yours on me, You never grow poor;

however miserable I may be, no one nobler or cleverer or even holier can come between You and me, and deprive me of Your friendship; and death, which tears us away from all other friends, will unite me forever to You.

All the humiliations attached to old age, or to the loss of honor, will never detach You from me; on the contrary, I shall never enjoy You more fully, and You will never be closer to me than when everything seems to conspire against me to overwhelm me and to cast me down.

You bear with all my faults with extreme patience, and even my want of fidelity and my ingratitude do not wound You to such a degree as to make You unwilling to receive me when I return to You.

O Jesus, grant that I may die praising You, that I may die loving You, that I may die for the love of you.

Amen.

Prayer of Confidence

My God, I firmly believe that Thou watchest over all those who hope in Thee, and that we can never want for anything when we rely upon Thee in all things; therefore I am resolved to live in the future with no anxieties, and to cast all my cares upon Thee . . . Let others seek their happiness in their wealth or their talents; let them trust in the purity of their life, the severity of their mortifications, the number of their good works, the fervor of their prayers: "For Thou, O Lord, singularly hast settled me in hope."

As for me, Lord, in my very confidence lies all my hope. Such confidence can never be in vain. "No one has ever hoped in Thee and has been confounded." Therefore I am assured of my eternal happiness, because I firmly hope for it, and all my hope is in Thee. "In Thee, O Lord, I have hoped; let me never be confounded." I know, alas! I know all too well that I am frail and changeable; I know the power of temptation against the strongest virtue. I have seen stars fall from heaven and pillars of the firmament totter; but these things do not alarm me as long as I hope in Thee. I am sheltered from all misfortune, and I am sure that my hope will endure, for I rely upon Thee to sustain my unfailing hope.

Finally, I know that I can never hope too much in Thee, and that I will never receive less than I have hoped for from Thee. Therefore, I hope that Thou will sustain me against my evil inclinations; that Thou will protect me against the most furious assaults and cause my weakness to triumph over my most powerful enemies. I hope that Thou will love me forever, and that I will love Thee also, unceasingly. And to carry my hope all at once as far as it can go, I hope for Thee Thyself from Thee, O my Creator, for time and for all eternity.

Amen

苦しみの神秘

<u>1 ゲッセマネの苦しみ</u>	P34
<u>2 むち打たれるキリスト</u>	P36
<u>3 キリストいばらの冠</u>	P38
<u>4 十字架を担うキリスト</u>	P40
<u>5 キリストの磔刑と私たちの主の死</u>	P42
<u>6 ファウステyna・コヴァルスカ</u> (english text)	P44

目次

1 庭での苦悶
主の祈り

36 それから、イエスは弟子たちと一緒にゲツセマネという所に来て、「わたしが向こうへ行って祈っている間、ここに座っていなさい」と言われた。37 ペトロおよびゼバダイの子二人を伴われたが、そのとき、悲しみもだえ始められた。38 そして、彼らに言われた。「わたしは死ぬばかりに悲しい。ここを離れず、わたしと共に目を覚ましていなさい。」

マタイ 26

アヴェ、マリア

35 少し進んで行って地面にひれ伏し、できることなら、この苦しみの時が自分から過ぎ去るようにと祈り、36 こう言われた。「アツバ、父よ、あなたは何でもおできになります。この杯をわたしから取りのけてください。しかし、わたしが願うことではなく、御心に適うことが行われますように。」

マルコ 14

アヴェ、マリア

37 それから、戻って御覧になると、弟子たちは眠っていたので、ペトロに言われた。「シモン、眠っているのか。わずか一時も目を覚ましていられなかったのか。38 誘惑に陥らぬよう、目を覚まして祈っていなさい。心は燃えても、肉体は弱い。」

マルコ 14

アヴェ、マリア

42 更に、二度目に向こうへ行って祈られた。「父よ、わたしが飲まないゆえにこの杯が過ぎ去らないのであれば、あなたの御心が行われますように。」40 再び戻って御覧になると、弟子たちは眠っていた。ひどく眠ったのである。彼らは、イエスにどう言えばよいのか、分からなかった。

マタイ 26 マルコ 14

アヴェ、マリア

41 そして自分は、石を投げて届くほどの所に離れ、ひざまずいてこう祈られた。42 「父よ、御心なら、この杯をわたしから取りのけてください。しかし、わたしの願いではなく、御心のままに行ってください。」

ルカ 22

アヴェ、マリア

〔43 すると、天使が天から現れて、イエスを力づけた。44 イエスは苦しみもたえ、いよいよ切に祈られた。汗が血の滴るように地面に落ちた。〕

ルカ 22

アヴェ、マリア

41 イエスは三度目に戻って来て言われた。「あなたがたはまだ眠っている。休んでいる。もうこれでいい。時が来た。人の子は罪人たちの手に引き渡される。42 立て、行こう。見よ、わたしを裏切る者が来た。」

マルコ 14

アヴェ、マリア

47 イエスがまだ話しておられると、群衆が現れ、十二人の一人でユダという者が先頭に立って、イエスに接吻をしようと近づいた。48 イエスは、「ユダ、あなたは接吻で人の子を裏切るのか」と言われた。

ルカ 22

アヴェ、マリア

50 イエスは、「友よ、しようとしていることをするがよい」と言われた。すると人々は進み寄り、イエスに手をかけて捕らえた。51 そのとき、イエスと一緒にいた者の一人が、手を伸ばして剣を抜き、大祭司の手下に打ちかかって、片方の耳を切り落とした。52 そこで、イエスは言われた。「剣をさやに納めなさい。剣を取る者は皆、剣で滅びる。」

マタイ 26

アヴェ、マリア

52 それからイエスは、押し寄せて来た祭司長、神殿守衛長、長老たちに言われた。「まるで強盗にでも向かうように、剣や棒を持ってやって来たのか。53 わたしは毎日、神殿の境内で一緒にいたのに、あなたたちはわたしに手を下さなかった。だが、今はあなたたちの時で、闇が力を振っている。」56 このすべてのことが起こったのは、預言者たちの書いたことが実現するためである。」このとき、弟子たちは皆、イエスを見捨てて逃げ去った。

ルカ 22 マタイ 26

アヴェ、マリア

願わくは、聖父と聖子と聖霊とに栄えあらんことを。

始めにありし如く、

今もいつも世々に至るまで。

アーメン。

2 むち打たれるキリスト

主の祈り

53 人々は、イエスを大祭司のところへ連れて行った。祭司長、長老、律法学者たちが皆、集まって来た。54 ペトロは遠く離れてイエスに従い、大祭司の屋敷の中庭まで入って、下役たちと一緒に座って、火にあたっていた。55 祭司長たちと最高法院の全員は、死刑にするためイエスにとって不利な証言を求めたが、得られなかった。

マルコ 14

アヴェ、マリア

63 イエスは黙り続けておられた。大祭司は言った。「生ける神に誓って我々に答えよ。お前は神の子、メシアなのか。」64 イエスは言われた。「それは、あなたが言ったことです。しかし、わたしは言うておく。あなたたちはやがて、人の子が全能の神の右に座り、天の雲に乗って来るのを見る。」

マタイ 26

アヴェ、マリア

65 そこで、大祭司は服を引き裂きながら言った。「神を冒瀆した。これでもまだ証人が必要だろうか。諸君は今、冒瀆の言葉を聞いた。66 どう思うか。」人々は、「死刑にすべきだ」と答えた。

マタイ 26

アヴェ、マリア

63 さて、見張りをしていた者たちは、イエスを侮辱したり殴ったりした。64 そして目隠しをして、「お前を殴ったのはだれか。言い当ててみる」と尋ねた。65 そのほか、さまざまなことを言ってイエスをののしった。

ルカ 22

アヴェ、マリア

73 しばらくして、そこにいた人々が近寄って来てペトロに言った。「確かに、お前もあの連中の仲間だ。言葉遣いでそれが分かる。」74 そのとき、ペトロは呪いの言葉さえ口にしながら、「そんな人は知らない」と誓い始めた。するとすぐ、鶏が鳴いた。75 ペトロは、「鶏が鳴く前に、あなたは三度わたしを知らないと言うだろう」と言われたイエスの言葉を思い出した。そして外に出て、激しく泣いた。

マタイ 26

アヴェ、マリア

1 夜が明けると、祭司長たちと民の長老たち一同は、イエスを殺そうと相談した。2
そして、イエスを縛って引いて行き、総督ピラトに渡した。29 そこで、ピラトが彼らのと
ころへ出て来て、「どういふ罪でこの男を訴えるのか」と言った。30 彼らは答えて、「この
男が悪いことをしていなかったら、あなたに引き渡しはしなかったでしょう」と言った。

マタイ 27 ヨハネ 18

アヴェ、マリア

2 そして、イエスをこう訴え始めた。「この男はわが民族を惑わし、皇帝に税を納める
のを禁じ、また、自分が王たるメシアだと言っていることが分かりました。」31 ピラ
トが、「あなたたちが引き取って、自分たちの律法に従って裁け」と言うと、ユダヤ人た
ちは、「わたしたちには、人を死刑にする権限がありません」と言った。

ルカ 23 ヨハネ 18

アヴェ、マリア

33 そこで、ピラトはもう一度官邸に入り、イエスを呼び出して、「お前がユダヤ人の王
なのか」と言った。36 イエスはお答えになった。「わたしの国は、この世には属してい
ない。もし、わたしの国がこの世に属していれば、わたしがユダヤ人に引き渡さないう
に、部下が戦ったことだろう。しかし、実際、わたしの国はこの世には属していない。」

ヨハネ 18

アヴェ、マリア

37 そこでピラトが、「それでは、やはり王なのか」と言うと、イエスはお答えになった。
「わたしが王だとは、あなたが言っていることです。わたしは真理について証しをするた
めに生まれ、そのためにこの世に来た。真理に属する人は皆、わたしの声を聞く。」

ヨハネ 18

アヴェ、マリア

38 ピラトは言った。「真理とは何か。」ピラトは、こう言ってからもう一度、ユダヤ人た
ちの前に出て来て言った。「わたしはあの男に何の罪も見いだせない。39 ところで、
過越祭にはだれか一人をあなたたちに釈放するのが慣例になっている。あのユダヤ人
の王を釈放してほしいか。」40 すると、彼らは、「その男ではない。バラバを」と大声
で言い返した。バラバは強盗であった。1 そこで、ピラトはイエスを捕らえ、鞭で打たせ
た。

ヨハネ 18 ヨハネ 19

アヴェ、マリア

願わくは、聖父と聖子と聖霊とに栄えあらんことを。

始めにありし如く、

今もいつも世々に至るまで。

アーメン。

3 キリストいばらの冠

主の祈り

4 ピラトは祭司長たちと群衆に、「わたしはこの男に何の罪も見いだせない」と言った。5 しかし彼らは、「この男は、ガリラヤから始めてこの都に至るまで、ユダヤ全土で教えながら、民衆を扇動しているのです」と言い張った。6 これを聞いたピラトは、この人はガリラヤ人かと尋ね、7 ヘロデの支配下にあることを知ると、イエスをヘロデのもとに送った。

ルカ 23

アヴェ、マリア

8 彼はイエスを見ると、非常に喜んだ。というのは、イエスのうわさを聞いて、ずっと以前から会いたいと思っていたし、イエスが何かしるしを行おうのを見たいと望んでいたからである。9 それで、いろいろと尋問したが、イエスは何もお答えにならなかった。

ルカ 23

アヴェ、マリア

10 祭司長たちと律法学者たちはそこにいて、イエスを激しく訴えた。11 ヘロデも自分の兵士たちと一緒にイエスをあざけり、侮辱したあげく、派手な衣を着せてピラトに送り返した。12 この日、ヘロデとピラトは仲がよくなった。それまでは互いに敵対していたのである。

ルカ 23

アヴェ、マリア

27 それから、総督の兵士たちは、イエスを総督官邸に連れて行き、部隊の全員をイエスの周りに集めた。28 そして、イエスの着ている物をはぎ取り、赤い外套を着せ、29 茨で冠を編んで頭に載せ、また、右手に葦の棒を持たせて、

マタイ 27

アヴェ、マリア

29 その前にひざまずき、「ユダヤ人の王、万歳」と言って、侮辱した。30 また、唾を吐きかけ、葦の棒を取り上げて頭をたたき続けた。

マタイ 27

アヴェ、マリア

4 ピラトはまた出て来て、言った。「見よ、あの男をあなたたちのところへ引き出そう。そうすれば、わたしが彼に何の罪も見いだせないわけが分かるだろう。」
ヨハネ 19 アヴェ、マリア

5 イエスは茨の冠をかぶり、紫の服を着けて出て来られた。ピラトは「見よ、この男だ」と言った。
ヨハネ 19 アヴェ、マリア

6 祭司長たちや下役たちは、イエスを見ると、「十字架につける。十字架につける」と叫んだ。ピラトは言った。「あなたたちが引き取って、十字架につけるがよい。わたしはこの男に罪を見いだせない。」7 ユダヤ人たちは答えた。「わたしたちには律法があります。律法によれば、この男は死罪に当たります。神の子と自称したからです。」
ヨハネ 19 アヴェ、マリア

8 ピラトは、この言葉を聞いてますます恐れ、9 再び総督官邸の中に入って、「お前はどこから来たのか」とイエスに言った。しかし、イエスは答えようとされなかった。
ヨハネ 19 アヴェ、マリア

10 そこで、ピラトは言った。「わたしに答えないのか。お前を釈放する権限も、十字架につける権限も、このわたしにあることを知らないのか。」11 イエスは答えられた。「神から与えられていなければ、わたしに対して何の権限もないはずだ。だから、わたしをあなたに引き渡した者の罪はもっと重い。」
ヨハネ 19 アヴェ、マリア

願わくは、聖父と聖子と聖霊とに栄えあらんことを。
始めにありし如く、
今もいつも世々に至るまで。
アーメン。

4 十字架を担うキリスト

主の祈り

14 それは過越祭の準備の日の、正午ごろであった。ピラトがユダヤ人たちに、「見よ、あなたたちの王だ」と言うと、15 彼らは叫んだ。「殺せ。殺せ。十字架につける。」ピラトが、「あなたたちの王をわたしが十字架につけるのか」と言うと、祭司長たちは、「わたしたちには、皇帝のほかに王はありません」と答えた。

ヨハネ 19

アヴェ、マリア

24 ピラトは、それ以上言っても無駄なばかりか、かえって騒動が起ころうなのを見て、水を持って来させ、群衆の前で手を洗って言った。「この人の血について、わたしには責任がない。お前たちの問題だ。」25 民はこぞって答えた。「その血の責任は、我々と子孫にある。」26 そこで、ピラトはバラバを釈放し、イエスを鞭打ってから、十字架につけるために引き渡した。

マタイ 27

アヴェ、マリア

17 イエスは、自ら十字架を背負い、いわゆる「されこうべの場所」、すなわちヘブライ語でゴルゴタという所へ向かわれた。26 人々はイエスを引いて行く途中、田舎から出て来たシモンというキレネ人を捕まえて、十字架を背負わせ、イエスの後ろから運ばせた。

ヨハネ 19 ルカ 23

アヴェ、マリア

27 民衆と嘆き悲しむ婦人たちが大きな群れを成して、イエスに従った。28 イエスは婦人たちの方を振り向いて言われた。「エルサレムの娘たち、わたしのために泣くな。むしろ、自分と自分の子供たちのために泣け。

ルカ 23

アヴェ、マリア

29 人々が、『子を産めない女、産んだことのない胎、乳を飲ませたことのない乳房は幸いだ』と言う日が来る。

ルカ 23

アヴェ、マリア

30 そのとき、人々は山に向かっては、『我々の上に崩れ落ちてくれ』と言い、丘に向かっては、『我々を覆ってくれ』と言い始める。31『生の木』さえこうされるのなら、『枯れた木』はまったくどうなるのだろうか。」

ルカ 23

アヴェ、マリア

22 そして、イエスをゴルゴタという所——その意味は「されこうべの場所」——に連れて行った。32 ほかに、二人の犯罪人が、イエスと一緒に死刑にされるために、引かれて行った。

マルコ 15 ルカ 23

アヴェ、マリア

19 ピラトは罪状書きを書いて、十字架の上に掛けた。それには、「ナザレのイエス、ユダヤ人の王」と書いてあった。

ヨハネ 19

アヴェ、マリア

20 イエスが十字架につけられた場所は都に近かったので、多くのユダヤ人がその罪状書きを読んだ。それは、ヘブライ語、ラテン語、ギリシア語で書かれていた。

ヨハネ 19

アヴェ、マリア

21 ユダヤ人の祭司長たちがピラトに、『ユダヤ人の王』と書かず、『この男は「ユダヤ人の王」と自称した』と書いてください』と言った。22 しかし、ピラトは、「わたしが書いたものは、書いたままにしておけ」と答えた。

ヨハネ 19

アヴェ、マリア

願わくは、聖父と聖子と聖霊とに栄えあらんことを。

始めにありし如く、

今もいつも世々に至るまで。

アーメン。

5 キリストの磔刑と私たちの主の死

主の祈り

23 没薬を混ぜたぶどう酒を飲ませようとしたが、イエスはお受けにならなかった。24 それから、兵士たちはイエスを十字架につけて、その服を分け合った、だれが何を取るかをくじ引きで決めてから。25 イエスを十字架につけたのは、午前九時であった。18 そこで、彼らはイエスを十字架につけた。また、イエスと一緒にほかの二人をも、イエスを真ん中にして両側に、十字架につけた。34〔そのとき、イエスは言われた。「父よ、彼らをお赦ください。自分が何をしているのか知らないのです。】

マルコ 15 ヨハネ 19 ルカ 23

アヴェ、マリア

29 そこを通りかかった人々は、頭を振りながらイエスをののしって言った。「おやおや、神殿を打ち倒し、三日で建てる者、30 十字架から降りて自分を救ってみろ。」31 同じように、祭司長たちも律法学者たちと一緒に、代わる代わるイエスを侮辱して言った。「他人は救ったのに、自分は救えない。32 一緒に十字架につけられた者たちも、イエスをののした。

マルコ 15

アヴェ、マリア

39 十字架にかけられていた犯罪人の一人が、イエスをののした。「お前はメシアではないか。自分自身と我々を救ってみろ。」40 すると、もう一人の方がたしなめた。「お前は神をも恐れぬのか、同じ刑罰を受けているのに。

ルカ 23

アヴェ、マリア

41 我々は、自分のやったことの報いを受けているのだから、当然だ。しかし、この方は何も悪いことをしていない。」42 そして、「イエスよ、あなたの御国においていなるときには、わたしを思い出してください」と言った。43 するとイエスは、「はっきり言っておくが、あなたは今日わたしと一緒に楽園にいる」と言われた。

ルカ 23

アヴェ、マリア

25 イエスの十字架のそばには、その母と母の姉妹、クロパの妻マリアとマグダラのマリアとが立っていた。26 イエスは、母とそのそばにいる愛する弟子を見て、母に、「婦人よ、御覧なさい。あなたの子です」と言われた。27 それから弟子に言われた。「見なさい。あなたの母です。」そのときから、この弟子はイエスの母を自分の家に引き取った。

ヨハネ 19

アヴェ、マリア

33 昼の十二時になると、全地は暗くなり、それが三時まで続いた。34 三時にイエスは大声で叫ばれた。「エロイ、エロイ、レマ、サバクタニ。」これは、「わが神、わが神、なせわたしをお見捨てになったのですか」という意味である。

マルコ 15

アヴェ、マリア

28 この後、イエスは、すべてのことが今や成し遂げられたのを知り、「渴く」と言われた。こうして、聖書の言葉が実現した。

ヨハネ 19

アヴェ、マリア

29 そこには、酸いぶどう酒を満した器が置いてあった。人々は、このぶどう酒をいっぱい含ませた海綿をヒノ皮に付け、イエスの口もとに差し出した。30 イエスは、このぶどう酒を受けると、「成し遂げられた」と言い、頭を垂れて息を引き取られた。

ヨハネ 19

アヴェ、マリア

45 太陽は光を失っていた。神殿の垂れ幕が真ん中から裂けた。46 イエスは大声で叫ばれた。「父よ、わたしの霊を御手にゆだねます。」こう言って息を引き取られた。39 百人隊長がイエスの方を向いて、そばに立っていた。そして、イエスがどのように息を引き取られたのを見て、「本当に、この人は神の子だった」と言った。

ルカ 23 マルコ 15

アヴェ、マリア

32 そこで、兵士たちが来て、イエスと一緒に十字架につけられた最初の男と、もう一人の男との足を折った。33 イエスのところに来てみると、既に死んでおられたので、その足は折らなかった。34 しかし、兵士の一人が槍でイエスのわき腹を刺した。すると、すぐ血と水とが流れ出した。35 それを目撃した者が証しており、その証は真実である。その者は、あなたがたにも信じさせるために、自分が真実を語っていることを知っている。

ヨハネ 19

アヴェ、マリア

願わくは、聖父と聖子と聖霊とに栄えあらんことを。

始めにありし如く、
今もいつも世々に至るまで。
アーメン。

This booklet may help you to meditate the sorrowful mysteries of the passion of our Lord, Jesus Christ, by reading extracts of gospel before each Hail Mary.

Why beginning by the sorrowful mysteries?

Because as ST Paul says to Corinthians: {1:23} But we are preaching Christ crucified. Certainly, to the Jews, this is a scandal, and to the Gentiles, this is foolishness. This is so important that he insists saying to Galathians {1:8} But if anyone, even we ourselves or an Angel from Heaven, were to preach to you a gospel other than the one that we have preached to you, let him be anathema.

From Diary of Saint Faustina Kowalska

186 Today Jesus said to me, I desire that you know more profoundly the love that burns in My Heart for souls, and you will understand this when you meditate upon My Passion. Call upon My mercy on behalf of sinners; I desire their salvation. When you say this prayer, with a contrite heart and with faith on behalf of some sinner, I will give him the grace of conversion. This is the prayer: 187 "O Blood and Water, which gushed forth from the Heart of Jesus as a fount of Mercy for us, I trust in You."

369 I heard this voice in my soul: There is more merit to one hour of meditation on My sorrowful Passion than there is to a whole year of flagellation that draws blood; the contemplation of My painful wounds is of great profit to you, and it brings Me great joy.

1397 The Lord said to me, The loss of each soul plunges Me into mortal sadness. You always console Me when you pray for sinners. The prayer most pleasing to Me is prayer for the conversion of sinners. Know, My daughter, that this prayer is always heard and answered.

1485 The Goodness of God. The mercy of God, hidden in the Blessed Sacrament, the voice of the Lord who speaks to us from the throne of mercy: Come to Me, all of you.

Jesus: Be not afraid of your Savior, O sinful soul. I make the first move to come to you, for I know that by yourself you are unable to lift yourself to Me. Child, do not run away from your Father; be willing to talk openly with your God of mercy who wants to speak words of pardon and lavish his graces on you. How dear your soul is to Me! I have inscribed your name upon My hand; you are engraved as a deep wound in My Heart.

Jesus: I am your strength, I will help you in the struggle.

Jesus: My child, do you fear the God of mercy? My holiness does not prevent Me from being merciful. Behold, for you I have established a throne of mercy on earth-the tabernacle-and from this throne I desire to enter into your heart. I am not surrounded by a retinue or guards. You can come to me at any moment, at any time; I want to speak to you and desire to grant you grace.

Jesus: My mercy is greater than your sins and those of the entire world. Who can measure the extent of my goodness? For you I descended from heaven to earth; for you I allowed myself to be nailed to the cross; for you I let my Sacred Heart be pierced with a lance, thus opening wide the source of mercy for you. Come, then, with trust to draw graces from this fountain. I never reject a contrite heart. Your misery has disappeared in the depths of My mercy. Do not argue with Me about your wretchedness. You will give me pleasure if you hand over to me all your troubles and griefs. I shall heap upon you the treasures of My grace.

Jesus: Child, speak no more of your misery; it is already forgotten. Listen, My child, to what I desire to tell you. Come close to My wounds and draw from the Fountain of Life whatever your heart desires. Drink copiously from the Fountain of Life and you will not weary on your journey. Look at the splendors of My mercy and do not fear the enemies of your salvation.

Glorify My mercy

栄えの神秘

- | | |
|-------------------------|------|
| <u>1 復活する</u> | P 48 |
| <u>2 昇天</u> | P 50 |
| <u>3 聖霊降臨</u> | P52 |
| <u>4 マリア、天の栄光に上げられる</u> | P 54 |
| <u>5 マリア、すべての人の母となる</u> | P 56 |

マリアの御手をとおして、人となった永遠の睿智イエズス・
キリストに、自分自身を奉獻する P 58

目次

1 復活する

主の祈り

57 夕方になると、アリマタヤ出身の金持ちでヨセフという人が来た。この人もイエスの弟子であった。58 この人がピラトのところに行って、イエスの遺体を渡してくれるようにお願いした。そこでピラトは、渡すように命じた。59 ヨセフはイエスの遺体を受け取ると、きれいな亜麻布に包み、60 岩に掘った自分の新しい墓の中に納め、墓の入り口には大きな石を転がしておいて立ち去った。61 マグダラのマリアともう一人のマリアとはそこに残り、墓の方を向いて座っていた。

マタイ 27

アヴェ、マリア

62 明る日、すなわち、準備の日の翌日、祭司長たちとファリサイ派の人々は、ピラトのところを集まって、63 こう言った。64 ですから、三日目まで墓を見張るように命令してください。そうでないと、弟子たちが来て死体を盗み出し、『イエスは死者の中から復活した』などと民衆に言いふらすかもしれません。そうすると、人々は前よりもひどく惑わされることとなります。」65 ピラトは言った。「あなたたちには、番兵がいるはずだ。行って、しっかりと見張らせるがよい。」66 そこで、彼らは行って墓の石に封印をし、番兵をおいた。

マタイ 27

アヴェ、マリア

1 さて、安息日が終わって、週の初めの日の明け方に、マグダラのマリアともう一人のマリアが、墓を見に行った。2 見ると、石が墓のわきに転がしてあり、3 中に入っても、主イエスの遺体が見当たらなかった。

マタイ 28 ルカ 24

アヴェ、マリア

2 そこで、シモン・ペトロのところへ、また、イエスが愛しておられたもう一人の弟子のところへ行って行って彼らに告げた。「主が墓から取り去られました。どこに置かれているのか、わたしたちには分かりません。」12 しかし、ペトロは立ち上がって墓へ走り、身をかかめて中をのぞくと、亜麻布しかなかったので、この出来事に驚きながら家に帰った

ヨハネ 20 ルカ 24

アヴェ、マリア

11 マリアは墓の外に立って泣いていた。泣きながら身をかかめて墓の中を見ると、12 イエスの遺体の置いてあった所に、白い衣を着た二人の天使が見えた。一人は頭の方に、もう一人は足の方に座っていた。

ヨハネ 20

アヴェ、マリア

5 天使は婦人たちに言った。「恐れることはない。十字架につけられたイエスを捜しているのだから、6 あの方は、ここにはおられない。かねて言われていたとおり、復活なさったのだ。さあ、遺体の置いてあった場所を見なさい。7 それから、急いで行って弟子たちにこう告げなさい。『あの方は死者の中から復活された。そして、あなたがたより先にガリラヤに行かれる。そこでお目にかかる。』確かに、あなたがたに伝えました。」

マタイ 28

アヴェ、マリア

8 婦人たちは、恐れながらも大いに喜び、急いで墓を立ち去り、弟子たちに知らせるために走って行った。9 すると、イエスが行く手に立っていて、「おはよう」と言われたので、婦人たちは近寄り、イエスの足を抱き、その前にひれ伏した。10 イエスは言われた。「恐れることはない。行って、わたしの兄弟たちにガリラヤへ行くように言いなさい。そこでわたしに会うことになる。」

マタイ 28

アヴェ、マリア

17 イエスは言われた。『わたしの父であり、あなたがたの父である方、また、わたしの神であり、あなたがたの神である方のところへわたしは上る』と。」18 マグダラのマリアは弟子たちのところへ行って、「わたしは主を見ました」と告げ、また、主から言われたことを伝えた。11 使徒たちは、この話がたわ言のように思われたので、婦人たちを信じなかった。

ヨハネ 20 ルカ 24

アヴェ、マリア

19 その日、すなわち週の初めの日の夕方、弟子たちはユダヤ人を恐れて、自分たちのいる家の戸に鍵をかけていた。そこへ、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。

ヨハネ 20

アヴェ、マリア

37 彼らは恐れおののき、亡霊を見ているのだと思った。38 そこで、イエスは言われた。「なぜ、うろたえているのか。どうして心に疑いを起こすのか。39 わたしの手や足を見なさい。まさしくわたしだ。触ってよく見なさい。亡霊には肉も骨もないが、あなたがたに見えるとおおり、わたしにはそれがある。」41 イエスは、「ここに何か食べ物があるか」と言われた。42 そこで、焼いた魚を一切れ差し出すと、43 イエスはそれを取って、彼らの前で食べられた。

ルカ 24

アヴェ、マリア

願わくは、聖父と聖子と聖霊とに栄えあらんことを。

始めにありし如く、

今もいつも世々に至るまで。

アーメン。

2 昇天

主の祈り

24 十二人の一人でディディモと呼ばれるトマスは、イエスが来られたとき、彼らと一緒にいなかった。25 そこで、ほかの弟子たちが、「わたしたちは主を見た」と言うと、トマスは言った。「あの方の手に釘の跡を見、この指を釘跡に入れてみなければ、また、この手をそのわき腹に入れてみなければ、わたしは決して信じない。」

ヨハネ 20

アヴェ、マリア

26 さて八日の後、弟子たちはまた家の中におり、トマスも一緒にいた。戸にはみな鍵がかけてあったのに、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。27 それから、トマスに言われた。「あなたの指をここに当てて、わたしの手を見なさい。また、あなたの手を伸ばし、わたしのわき腹に入れなさい。信じない者ではなく、信じる者になりなさい。」

ヨハネ 20

アヴェ、マリア

28 トマスは答えて、「わたしの主、わたしの神よ」と言った。29 イエスはトマスに言われた。「わたしを見たから信じたのか。見ないのに信じる人は、幸いである。」

ヨハネ 20

アヴェ、マリア

44 イエスは言われた。「わたしについてモーセの律法と預言者の書と詩編に書いてある事柄は、必ずすべて実現する。これこそ、まだあなたがたと一緒にいたころ、言っておいたことである。」45 そしてイエスは、聖書を悟らせるために彼らの心の目を開いて、言われた。

ルカ 24

アヴェ、マリア

46 「次のように書いてある。『メシアは苦しみを受け、三日目に死者の中から復活する。47 また、罪の赦しを得させる悔い改めが、その名によってあらゆる国の人々に宣べ伝えられる』と。エルサレムから始めて、48 あなたがたはこれらのことの証人となる。49 わたしは、父が約束されたものをあなたがたに送る。高い所からの力に覆われるまでは、都にとどまっていなさい。」

ルカ 24

アヴェ、マリア

31「シモン、シモン、サタンはあなたがたを、小麦のようにふるいにかけることを神に願って聞き入れられた。32 しかし、わたしはあなたのために、信仰が無くならないように祈った。だから、あなたは立ち直ったら、兄弟たちをカブけてやりなさい。」17「わたしの羊を飼いなさい。

ルカ22 ヨハネ21

アヴェ、マリア

20『僕は主人にまさりたくない』と、わたしが言った言葉を思い出しなさい。人々がわたしを迫害したのであれば、あなたがたをも迫害するだろう。33 これらのことを話したのは、あなたがたがわたしによって平和を得るためである。あなたがたには世で苦難がある。しかし、勇気を出しなさい。わたしは既に世に勝っている。」

ヨハネ15 ヨハネ16

アヴェ、マリア

21 イスは重ねて言われた。「あなたがたに平和があるように。父がわたしをお遣わしになったように、わたしもあなたがたを遣わす。」22 そう言ってから、彼らに息を吹きかけて言われた。「聖霊を受けなさい。23 だれの罪でも、あなたがたが赦せば、その罪は赦される。だれの罪でも、あなたがたが赦さなければ、赦されないまま残る。」

ヨハネ20

アヴェ、マリア

18 イスは、近寄って来て言われた。「わたしは天と地の一切の権能を授かっている。19 だから、あなたがたは行って、すべての民をわたしの弟子にしなさい。彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を授け、20 あなたがたに命じておいたことをすべて守るように教えなさい。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。」

マタイ28

アヴェ、マリア

50 イスは、そこから彼らをベタニアの辺りまで連れて行き、手を上げて祝福された。51 そして、祝福しながら彼らを離れ、天に上げられた。52 彼らはイスを伏し拝んだ後、大喜びでエルサレムに帰り、14 彼らは皆、婦人たちやイスの母マリア、またイスの兄弟たちと心を合わせて熱心に祈っていた。

ルカ24

アヴェ、マリア

願わくは、聖父と聖子と聖霊とに栄えあらんことを。

始めにありし如く、

今もいつも世々に至るまで。

アーメン。

3 聖霊降臨 主の祈り

49 わたしは、父が約束されたものをあなたがたに送る。高い所からの力に覆われるまでは、都にとどまっていなさい。」26 しかし、弁護者、すなわち、父がわたしの名によってお遣わしになる聖霊が、あなたがたにすべてのことを教え、わたしが話したことをことごとく思い起こさせてくださる。26 わたしが父のもとからあなたがたに遣わそうとしている弁護者、すなわち、父のもとから出る真理の霊が来るとき、その方がわたしについて証しをなさるはずである。27 あなたがたも、初めからわたしと一緒にいたのだから、証しをするのである。

ルカ24 ヨハネ14 ヨハネ15

アヴェ、マリア

1 五旬祭の日が来て、一同が一つになって集まっていると、2 突然、激しい風が吹いて来るような音が天から聞こえ、彼らが座っていた家中に響いた。

渡ったのです2

アヴェ、マリア

3 そして、炎のような舌が分かれ分かれに現れ、一人一人の上にとどまった。4 すると、一同は聖霊に満たされ、“霊”が語らせるままに、ほかの国々の言葉で話した。

渡ったのです2

アヴェ、マリア

5 さて、エルサレムには天下のあらゆる国から帰って来た、信心深いユダヤ人が住んでいたが、6 この物音に大勢の人が集まって来た。そして、だれもかれも、自分の故郷の言葉が話されているのを聞いて、あつがにとられてしまった。7 人々は驚き怪しんで言った。「話をしているこの人たちは、皆ガリラヤの人ではないか。

渡ったのです2

アヴェ、マリア

8 どうしてわたしたちは、めいめいが生まれた故郷の言葉を聞くのだろうか。11 ユダヤ人もいれば、ユダヤ教への改宗者もあり、クレタ、アラビアから来た者もいるのに、彼らがわたしたちの言葉で神の偉大な業を語っているのを聞こうとは。」12 人々は皆驚き、とまどい、「いったい、これはどういうことなのか」と互いに言った。13 しかし、「あの人たちは、新しいどう酒に酔っているのだ」と言って、あざける者もいた。

渡ったのです2

アヴェ、マリア

14 すると、ペトロは十一人と共に立って、声を張り上げ、話し始めた。「ユダヤの方々、またエルサレムに住むすべての人たち、知っていただきたいことがあります。わたしの言葉に耳を傾けてください。15 今は朝の九時ですから、この人たちは、あなたがたが考えているように、酒に酔っているわけではありません。16 そうではなく、これこそ預言者ヨエルを通して言われていたことなのです。17『神は言われる。終わりの時に、わたしの霊をすべての人に注ぐ。すると、あなたたちの息子と娘は預言し、若者は女を見、老人は夢を見る。

渡ったのです 2

アヴェ、マリア

22 イスラエルの人たち、これから話すことを聞いてください。ナザレの人イエスこそ、神から遣わされた方です。神は、イエスを通してあなたがたの間で行われた奇跡と、不思議な業と、しるしとによって、そのことをあなたがたに証明なさいました。あなたがた自身が既に知っているとおりで、23 このイエスを神は、お定めになった計画により、あらかじめご存じのうえで、あなたがたに引き渡されたのですが、あなたがたは律法を知らない者たちの手を借りて、十字架につけて殺してしまつたのです。

渡ったのです 2

アヴェ、マリア

32 神はこのイエスを復活させられたのです。わたしたちは皆、そのことの証人です。33 それで、イエスは神の右に上げられ、約束された聖霊を御父から受けて注いでくださいました。あなたがたは、今このことを見聞しているのです。36 だから、イスラエルの全家は、はっきり知らなくてはなりません。あなたがたが十字架につけて殺したイエスを、神は主とし、またメシアとなされたのです。」

渡ったのです 2

アヴェ、マリア

37 人々はこれを聞いて大いに心を打たれ、ペトロとほかの使徒たちに、「兄弟たち、わたしたちはどうしたらよいのですか?」と言った。38 すると、ペトロは彼らに言った。「悔い改めなさい。めいめい、イエス・キリストの名によって洗礼を受け、罪を赦していただきなさい。そうすれば、賜物として聖霊を受けます。

渡ったのです 2

アヴェ、マリア

41 ペトロの言葉を受け入れた人々は洗礼を受け、その日に三千人ほどが仲間に加わつた。42 彼らは、使徒の教え、相互の交わり、パンを裂くこと、祈ることに熱心であつた。

渡ったのです 2

アヴェ、マリア

願わくは、聖父と聖子と聖霊とに栄えあらんことを。

始めにありし如く、

今もいつも世々に至るまで。

アーメン。

4 マリア、天の栄光に上げられる

主の祈り

16 あなたがたがわたしを選んだのではない。わたしがあなたがたを選んだ。あなたがたが出かけて行って実を結び、その実が残るようにと、26 六か月目に、天使ガブリエルは、ナザレというガリラヤの町に神から遣わされた。27 ダビデ家のヨセフという人のいいはずけであるおとめのところに遣わされたのである。そのおとめの名はマリアといった。
ヨハネ 15 ルカ 1

アヴェ、マリア

21 わたしの掟を受け入れ、それを守る人は、わたしを愛する者である。わたしを愛する人は、わたしの父に愛される。わたしもその人を愛して、その人にわたし自身を現す。」28 天使は、彼女のところに来て言った。「おめでとう、恵まれた方。主があなたと共におられる。」

ヨハネ 14 ルカ 1

アヴェ、マリア

23 イエスはこう答えて言われた。「わたしを愛する人は、わたしの言葉を守る。わたしの父はその人を愛され、父とわたしとはその人のところに行き、一緒に住む。35 天使は答えた。「聖霊があなたに降り、いと高き方の力があなたを包む。」

ヨハネ 14 ルカ 1

アヴェ、マリア

17 はっきり言っておく。子供のように神の国を受け入れる人でなければ、決してそこに入ることはできない。」37 神にできないことは何一つない。」38 マリアは言った。「わたしは主のほしためです。お言葉どおり、この身に成りますように。」そこで、天使は去って行った。

ルカ 18 ルカ 1

アヴェ、マリア

21「わたしに向かって、『主よ、主よ』と言う者が皆、天の国に入るわけではない。わたしの天の父の御心を行う者だけが入るのである。5 しかし、母は召し使いたちに、「この人が何か言いつけたら、そのとおりにしてください」と言った。

マタイ 7 ヨハネ 2

アヴェ、マリア

7 あなたがたがわたしにつながっており、わたしの言葉があなたがたの内にもあるならば、望むものを何でも願いなさい。そうすればかなえられる。51 それから、イエスは一緒に下って行き、ナザレに帰り、両親に仕えてお暮らしになった。

ヨハネ 15 ルカ 2

アヴェ、マリア

23 しかし、まことの礼拝をする者たちが、霊と真理をもって父を礼拝する時が来る。今がその時である。なぜなら、父はこのように礼拝する者を求めておられるからだ。24 神は霊である。だから、神を礼拝する者は、霊と真理をもって礼拝しなければならぬ。」

ヨハネ 4

アヴェ、マリア

46 そこで、マリアは言った。「わたしの魂は主をあがめ、47 わたしの霊は救い主である神を喜びたたえます。48 身分の低い、この主のはたためにも目を留めてくださったからです。今から後、いつの世の人でもわたしを幸いな者と言うでしょう、49 力ある方が、わたしに偉大なことをなさいましたから。その御名は尊く、50 その憐れみは代々に限りなく、主を畏れる者に及びます。

ルカ 1

アヴェ、マリア

25 イエスの十字架のそばには、その母と母の姉妹、クロパの妻マリアとマグダラのマリアとが立っていた。26 イエスは、母とそのそばにいる愛する弟子とを見て、母に、「婦人よ、御覧なさい。あなたの子です」と言われた。34 しかし、兵士の一人が槍でイエスのわき腹を刺した。すると、すぐ血と水とが流れ出した。

ヨハネ書 19

アヴェ、マリア

3 イエスは苦難を受けた後、御自分が生きていることを、数多くの証拠をもって使徒たちに示し、四十日にわたって彼らに現れ、神の国について話された。13 彼らは都に入ると、泊まっていた家の上の部屋に上がった。それは、ペトロ、ヨハネ、ヤコブ、アンデレ、フィリポ、トマス、バルトロマイ、マタイ、アルファイの子ヤコブ、熱心党のシモン、ヤコブの子ユダであった。14 彼らは皆、婦人たちやイエスの母マリア、またイエスの兄弟たちと心を合わせて熱心に祈っていた。

使徒の働き 1

アヴェ、マリア

願わくは、聖父と聖子と聖霊とに栄えあらんことを。

始めにありし如く、

今もいつも世々に至るまで。

アーメン。

5 マリア、すべての人の母となる

主の祈り

38 一行が歩いて行くうち、イエスはある村にお入りになった。すると、マルタという女が、イエスを家に迎え入れた。39 彼女にはマリアという姉妹がいた。マリアは主の足もとに座って、その話に聞き入っていた。

ルカ 10

アヴェ、マリア

40 マルタは、いろいろのもてなしのためせわしく立ち働いていたが、そばに近寄って言った。「主よ、わたしの姉妹はわたしが代りにもてなしをさせていますが、何ともお思いになりませんか。手伝ってくれるようにおっしゃってください。」41 主はお答えになった。「マルタ、マルタ、あなたは多くのことに思い悩み、心を乱している。42 しかし、必要なことはただ一つだけである。マリアは良い方を選んだ。それを取り上げてはならない。」

ルカ 10

アヴェ、マリア

3 そのとき、マリアが純粋で非常に高価なナルドの香油を一リトラ持って来て、イエスの足に塗り、自分の髪でその足をぬぐった。家は香油の香りでいっぱいになった。38 後ろからイエスの足もとに近寄り、泣きながらその足を涙でぬらし始め、自分の髪の毛でぬぐい、イエスの足に接吻して香油を塗った。

ヨハネ 12 ルカ 7

アヴェ、マリア

8 弟子たちはこれを見て、憤慨して言った。「なぜ、こんな無駄遣いをするのか。9 高く売って、貧しい人々に施すことができたのに。」10 イエスはこれを知って言われた。「なぜ、この人を困らせるのか。わたしに良いことをしてくれたのだ。」

マタイ 26

アヴェ、マリア

7 貧しい人々はいつもあなたがたと一緒にいるから、したいときに良いことをしてやれる。しかし、わたしはいつも一緒にいるわけではない。8 この人はできるかぎりのことをした。つまり、前もってわたしの体に香油を注ぎ、埋葬の準備をしてくれた。9 はっきり言っておく。世界中どこでも、福音が宣べ伝えられる所では、この人のしたことも記念として語り伝えられるだろう。」

マルコ 14

アヴェ、マリア

39 イエスを招待したファリサイ派の人はこれを見て、「この人かもし預言者なら、自分に触れている女がだれで、どんな人か分かるはずだ。罪深い女なのに」と思った。40 そこで、イエスがその人に向かって、「シモン、あなたに言いたいことがある」と言われると、シモンは、「先生、おっしゃってください」と言った。44 そして、女の方を振り向いて、シモンに言われた。「この人を見ないか。わたしがあなたの家に入ったとき、あなたは足を洗う水もくれなかったが、この人は涙でわたしの足をぬらし、髪の毛でぬぐってくれた。45 あなたはわたしに接物の挨拶もしなかったが、この人はわたしが入って来てから、わたしの足に接吻してやまなかった。46 あなたは頭におリーブ油を塗ってくれなかったが、この人は足に香油を塗ってくれた。

ルカ7

アヴェ、マリア

47 だから、言っておく。この人が多くの罪を赦されたことは、わたしに示した愛の大きさと分かる。赦されることの少ない者は、愛することも少ない。」48 そして、イエスは女に、「あなたの罪は赦された」と言われた。50 あなたの信仰があなたを救った。安心して行きなさい」と言われた。

ルカ7

アヴェ、マリア

21 するとイエスは、「わたしの母、わたしの兄弟とは、神の言葉を聞いて行う人たちのことである」とお答えになった。50 だれでも、わたしの天の父の御心を行う人が、わたしの兄弟、姉妹、また母である。」

ルカ8 マタイ12

アヴェ、マリア

25 イエスの十字架のそばには、その母と母の姉妹、クロパの妻マリアとマグダラのマリアとが立っていた。26 イエスは、母とそのそばにいる愛する弟子とを見て、母に、「婦人よ、御覧なさい。あなたの子です」と言われた。27 それから弟子に言われた。「見なさい。あなたの母です。」

ヨハネ19

アヴェ、マリア

9〔イエスは週の初めの日の朝早く、復活して、まずマグダラのマリアに御自身を現された。このマリアは、以前イエスに七つの悪霊を追い出していたいた婦人である。10 マリアは、イエスと一緒にいた人々が泣き悲しんでいるところへ行って、このことを知らせた。11 しかし彼らは、イエスが生きておられること、そしてマリアがそのイエスを見たことを聞いても、信じなかった。

マルコ16

アヴェ、マリア

願わくは、聖父と聖子と聖霊とに栄えあらんことを。

始めにありし如く、

今もいつも世々に至るまで。

アーメン。

マリアの御手をとおして、人となった永遠の睿智イエズス・キリストに、自分自身を奉獻する

ああ、人となられた、永遠の睿智よ！ああ、いとも愛すべき、拝むべきイエズス、まことの天主、まことの人、永遠の聖父のひとり子にして終生童貞マリアの子よ！

永遠にわたって聖父のふところにおいてまた聖父の栄光の輝きのうちに、さらにまた、御身の御託身の時間においてましまし、御身のいともふさわしい御母なるマリアの童貞なる胎内のうちにましましたもう御身を、われは深く礼拝奉る。

われを悪魔の残酷な奴隷状態から解放するため、御身は奴隷の姿を取りご自分を無にし給うたことを、われは御身に感謝し奉る。御身は、聖なる母マリアに万事において服従することをお望みになり給ひしが、それは聖母を通してわれを御身の忠実な奴隷となすためなり。われは、御身を褒めたたえ、栄光を弔し奉る。

されど、悲しいかな、何と忘恩にして不忠実なることか、われは洗礼の時のかくも莊嚴に御身になした誓いと約束とを守らざりけり。われは、自分の義務を果たさざりき。御身の子とも、御身の奴隷とも、われは呼ばれるに値せぬなり。われには、ゴミ同然で御身の怒りしか値するものが無きがゆえに、われ自身では御身の聖にして偉大なる御凌威に敢えて近づくを得ず。

それゆえわれは御身のいとも聖なる御母の取り次ぎと御隣りに寄りすがるなり。御身は聖母を御身の御託における仲介者とわれに与え給えたるがゆえなり。御身から痛悔とわが罪の赦し、智恵の獲得と保存とを得ることができるとわれ期すは、聖母の手段を通してなり。

めでたし、ああ、汚れなき御母聖マリア、天主の生ける聖櫃よ、御身において隠れたる永遠の智恵イエズスは、天使らからも人々からも、礼拝されることを望み給うなり。めでたし、おお、天と地の元后よ、御身の支配のもとに、天主より下のものはみな全て服従するなり。

めでたし、おお、罪人の安全なよりどころよ、御身のあわれみは全ての人に及ぶなり、天主の智恵についての我れが抱く望みを聞き入れ、わが卑しさが御身に奉ずる約束と奉獻を受け入れ給え。

われ（名前）、信仰薄き身なれど、今日、御身の御前に、御手のうちに、洗礼の

約束を新たに、確認し奉る。われは、悪魔とその栄華とその業とを永久に捨てんことを誓い奉る。われは人となり給いし天主の叡智なるイエズス・キリストの御跡に従い、死に至るまで人生の全ての日々、おのが十字架を担い、今より後は一層主に忠実ならんがため、われ自身を全て主にささげ奉る。

われ今、天国の全ての諸天使諸聖人の前にて、御身をわが母、わが元后 (Maîtresse) として選び仰ぎ、われはみずからを奴隷として御身にささげ尽くし、わが身も靈魂も、わが内的善も外的善も、過去・現在・未来におけるわが善業の功德をもことごとく御身に奉げ奉る。

われと、われに属する全てを現世においても来世においても余すところなく、天主の最大の御栄のために御身の御旨のままに言らい自由に処理する全権を御身に委ね奉る。

ああ、優しき童貞マリアよ、永遠の叡智なるイエズスが母なる御身になし給うた服従を褒め称え、この服従に一致して、われを奴隷として御身に奉るこのささやかなる捧げ物を受け入れ給え。主と御身とが二人とも、この小さき虫けら、このあわれな罪人の上にもち給う力を褒め称え、聖三位一体が御身に与え給う諸特権に感謝し奉る。これから後、われは御身の真の奴隷として、御身の誉れを追求し、万事において御身に従順たることを、莊厳に宣言し奉る。

ああ、いとも感ずべき御母よ、われを永遠の奴隷として、御身の愛する御子イエズスにささげ給え。御身を通してわれを贖いし主が、御身を通してわれを受け入れ給うためなり。

ああ、あわれみの御母よ！天主の真の叡智を得るみめぐみを我になし給え。そのために、御身の子かつ奴隷として御身が愛し・教え・導き・養い・保護し給う者たちの数にわれをも加え給え。

ああ、真実なる童貞よ、われをして、全てにおいて、人となった叡智である御子イエズス・キリストのいとも完全なる、御身の御取り次ぎと、模範とによりて、地上にてはイエズスの生涯の充満に、天国においては、主の栄光の充満に到達するほど完全なる、弟子、模倣者、奴隷となし給え。

アーメン。

ルイ・マリー・グリニオン・ド・モンフォール

且次



Amo Ergo Sum
www.aes-rosaire.fr